

令和4年第3回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和4年8月31日（水） 議員団会議終了後
保土ヶ谷区役所 地下会議室/WEB会議併用

次 第

議 題

- 1 令和3年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について
- 2 令和4年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について
 - 2-1 区制100周年に向けた地域活動ブースター事業
 - 2-2 ほどがや元気づくり事業／ほどがや歯っぴいHealth事業
 - 2-3 障害者地域支えあい連携推進事業
- 3 その他

令和3年度保土ヶ谷区

個性ある区づくり推進費等

執行実績

令和4年8月31日

保土ヶ谷区

《目次》

1	令和3年度個性ある区づくり推進費 執行総括表	1
2	令和3年度個性ある区づくり推進費 執行内訳	1
(1)	自主企画事業費 施策分野別執行実績	1
(2)	自主企画事業費 事業別執行実績	2
(3)	統合事務事業費 執行実績	12
(4)	区庁舎・区民利用施設管理費 執行実績	13
《参考1》	区局連携促進事業 執行実績	14
《参考2》	元気な地域づくり推進事業 執行実績	15

1 令和3年度個性ある区づくり推進費 執行総括表

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差引	差引の主な理由
自主企画事業費 (37事業)	101,682,000	90,058,348	11,623,652	○ほどがや区民まつりの中止に伴う補助金の減(3,056,575) ○ほどがや元気づくり事業における、新型コロナウイルス感染拡大防止による多数の事業の中止に伴う委託費の減(3,061,642)
統合事務事業費	43,116,000	41,217,241	1,898,759	○広報よこはま発行事業における、印刷部数減による印刷製本費の残及び入札残による委託費の残(1,686,593)
区庁舎・区民利用施管理費	538,767,000	552,182,637	△ 13,415,637	○労務単価増による区庁舎設備管理等委託料の増(6,505,950) ○光熱水費単価の上昇に伴う増(6,026,269)
合計	683,565,000	683,458,226	106,774	

2 令和3年度個性ある区づくり推進費執行内訳

(1) 自主企画事業費 施策分野別執行実績

(単位：円)

施策分野	予算額	決算額	差引	主な事業・主な取組
1 暮らしの安全・安心の確保	22,182,000	18,625,923	3,556,077	【災害対策推進事業】 (2ページ) ○地域防災の担い手育成や減災運動推進大会等の活動による、地域における自助・共助の推進 【交通安全対策事業】 (3ページ) ○交通安全運動等による交通事故の防止や、放置自転車の防止による歩行者への安全対策の推進
2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	24,157,000	15,327,286	8,829,714	【ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～】 (4ページ) ○地域赤ちゃん教室やほめ方しかり方講座等の開催による、妊娠期から学齢期前まで地域で孤立しない子育てサポートを実施 【ほどがや歯っぴいHealth事業】 (5ページ) ○歯の生え始めから歯周病・オーラルフレイル予防まで、生涯にわたり健康な口腔を保つための知識の啓発や実技指導を実施
3 つながり・支えあいの推進	25,938,000	17,532,078	8,405,922	【障害者地域支えあい連携推進事業】 (8ページ) ○精神科未治療者や治療中断者の重篤化を防ぐため、多職種連携によるアウトリーチ支援を実施 【保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業】 (8ページ) ○各地区の取組支援や、ほっとなまちづくり推進会議における取組の情報共有等による、第4期保土ヶ谷区地域福祉保健計画を推進
4 魅力あるまちづくり	18,157,000	12,846,451	5,310,549	【歴史浪漫ほどがや事業】 (9ページ) ○案内サイン等の維持管理 ○まちの魅力発信拠点の整備・運営 【星川駅周辺の魅力づくり事業】 (9ページ) ○星川駅高架下空間やその周辺の魅力向上を図るため、ワークショップや各種イベントを実施
<信頼される区役所づくり ～「チーム保土ヶ谷」の強化～>	11,248,000	25,726,610	△ 14,478,610	【「利用しやすい区役所」推進事業】 (10ページ) ○区民の皆様が快適に利用できるよう区庁舎環境改善・レイアウト変更を実施
合計	101,682,000	90,058,348	11,623,652	

(2) 自主企画事業費 事業別執行実績

1 暮らしの安全・安心の確保

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動や避難所の感染症対策を推進しました。また、誰もが安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全や地球温暖化防止行動の支援などに取り組みました。

【予算額 22,182,000円】

【決算額 18,625,923円】

1 エコ活動推進事業 【(予) 318,000円 (決) 265,593円】

横浜市地球温暖化対策実行計画に掲げた「温室効果ガス排出量を2020年度までに22%、2030年度までに30%、2050年度までに80%以上削減(2013年度比)」の目標及び目指す姿である「Zero Carbon Yokohama」の達成に向け、区民一人ひとりが地球温暖化防止行動に取り組むための支援を行いました。

- (1) 主に小学生を対象とした謎解きイベント「なぞ解き!ほ도가やアドベンチャー」の実施(7~9月)
- (2) 区ホームページやTwitter等を活用した啓発・情報提供

2 災害対策推進事業(20万区民の自助・共助による減災運動)

【(予) 11,536,000円 (決) 9,437,532円】

「20万区民の自助・共助による減災運動」を推進し、町の防災組織、地域防災拠点等の支援や、防災の担い手育成など、地域防災力の向上を図りました。

また、激甚化する風水害や大地震に備え、関係機関との連携体制構築など、危機管理体制の強化を図りました。

- (1) 保土ヶ谷区感震ブレーカー等設置補助(自治会町内会:1件40個・個人世帯:13件)
- (2) 保土ヶ谷区防災講習会講師派遣(3団体)
- (3) 地域防災拠点訓練(23校)、防災ライセンス資機材取扱指導員派遣(5校、参加者187人)等の実施
- (4) 地域防災の担い手育成「がやっこレスキュー隊Jr.防災力検定」
(実施校:19校・参加児童:1361人)
- (5) 減災運動推進大会を動画配信により開催(3月)
- (6) 県立高等学校と避難施設等の提供協力に関する協定細則を締結(3校)
- (7) 保土ヶ谷警察署、保土ヶ谷消防署との協力体制を強化

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、感震ブレーカー設置促進事業の申請数の減による執行残

<p>3 保土ヶ谷区地域防犯力向上事業 【(予) 5,697,000円 (決) 4,220,227円】</p> <p>警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上することで、特殊詐欺（振り込め詐欺など）をはじめとした犯罪を防止し、安全・安心なまちづくりを推進しました。</p> <p>(1)防犯センター活用事業 (2)こども110番あんしんの家</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、多目的防犯拠点施設が一時閉所に伴う補助金の残。</p>
<p>4 交通安全対策事業 【(予) 3,643,000円 (決) 3,937,535円】</p> <p>交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進しました。また、駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者に啓発しました。</p>
<p>5 暮らしの衛生サポート事業 【(予) 988,000円 (決) 765,036円】</p> <p>生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすく啓発し、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援しました。</p> <p>(1)持ち帰りや宅配を行う飲食店や区民への食中毒予防啓発の実施 (2)食中毒予防啓発物品の作成・配布（6月～） (3)飼い主のいない猫対策 (4)災害時ペット対策グッズ（一時飼育場所開設キット）の作成・配布（2拠点）</p>
<p>2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり</p> <p>誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、生活習慣病予防、介護予防などに取り組みました。また、スポーツを通じた健康づくりを推進しました。</p> <p style="text-align: right;">【予算額 24,157,000円】 【決算額 15,327,286円】</p>
<p>6 スポーツの街ほどがや推進事業 【(予) 3,612,000円 (決) 2,262,463円】</p> <p>スポーツ推進委員や区スポーツ協会と協力し、誰もが身近にスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、区内唯一のプロスポーツチームである横浜FCとの連携を通じて、区民が一流のプレーを観戦する機会などを創出することで、区民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた区民の暮らしの充実やまちの活性化を図りました。</p> <p>(1) スポーツ協会事業 (2) 各種スポーツ大会（新型コロナウイルス感染症対策のため中止） (3) プロスポーツチームの応援事業（新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止）</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会やプロスポーツ連携事業が中止となったため。</p>

7 がやっこ育成事業 【(予) 1,812,000円 (決) 1,389,992円】

青少年の健全育成に関して、子ども会や地域の資源（横浜国立大学や水田）と連携、活用し、未来を担う青少年が健やかに成長できる地域環境の実現を図ります。また、児童をはじめ、区民の世代間交流の場をつくるとともに、事業を通じて地域の新たな担い手として活躍していただくきっかけを作りました。

- (1) がやっこ先生(延べ54回派遣)、がやっこ夏休み教室(10講座)、がやっこ探検隊(6回)
- (2) ほどがや☆元気村 どろんこ教室(13回)

8 がやっこキッズ学び育み事業 【(予) 3,064,000円 (決) 1,808,067円】

学校以外での学習機会に恵まれない子どもたちが基礎学力や学習習慣を身に付けられるよう、放課後キッズクラブの特別プログラムとして、参加を希望する児童に対する学習アドバイザー等による学習支援を行いました。

- (1) 継続校(12校)で事業の実施
- (2) アドバイザー派遣・プログラム内容のコーディネート・連絡会の開催

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学習支援教室の一部休止に伴う補助金の残
(1,195,533円)

9 ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～

【(予) 6,204,000円 (決) 5,156,580円】

地域で孤立しないよう、人とつながる子育てを支援していくため、「安心して子育てできるまち保土ヶ谷」として、妊娠期から学齢期まで、トータルで子育てをサポートする事業を実施します。なお、実施に当たっては、各地区の特徴を生かし、地域の多世代の方々や子育て関係機関と連携しながら進めました。

- (1) 両親教室 (2) 保育所による妊娠期及び未就学児親子の支援(4園、月～金)
- (3) ほがらか育児講座の開催(2会場20組参加) (4) 地域赤ちゃん教室の開催(14会場、139回)
- (5) 外国人親子向け動画作成(11月) (6) 乳幼児健診来庁者への情報提供(72回)
- (7) 子育てお役立ち情報(子育てマップ)の作成(5,500部)、ホームページの更新(随時)
- (8) ほめ方しかり方講師養講座の開催(全4会場、各5回実施)
- (9) 地域子育て支援連絡会の開催(全体会 2月、地区別 7地区各1～3回程度実施)
- (10) ほどがやこどもニコニコフェスタの開催(7会場) (11) 保育園応援隊の実施

【差引の主な理由】

動画作成等委託料の残
ほがらか広場中止等による消耗品費の残
赤ちゃん教室中止等による講師謝金及び会場使用料の残

10 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業【(予) 1,698,000円 (決) 1,044,834円】

こども虐待防止について広く区民に関心を持ってもらうとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげました。

- (1) 児童虐待防止啓発事業の実施 (10、11月)
- (2) 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催 (4回実施)
- (3) 女性の離婚等のための相談事業の実施

11 ほどがや歯っぴいHealth事業【(予) 1,400,000円 (決) 1,005,166円】

口腔の健康状態は全身に大きく影響します。歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防やオーラルフレイル予防まで、生涯にわたり口腔内を健康に保つために必要な知識や口腔内のお手入れ方法について、実技指導等を取り入れながら啓発しました。

- (1) オーラルフレイル教室等

ア オーラルフレイル教室

月日	会場
4月27日(火)	瀬戸ヶ谷町公園 (24名)
6月10日(木)	満天の湯 (12名)
8月31日(火)	東川島水道みち公園 (15名)
9月13日(月)	保土ヶ谷区福祉保健活動拠点【中止】
10月27日(水)	常盤第一公園 (15名)

イ 子育てサロン歯みがき出張出前講座 8か所、131名

ウ 歯っぴいいきいき1歳児 10回、103名

エ 親子で歯みがき教室 1回、26名

オ 子育て拠点親子歯みがき相談室 6回、104名

- (2) 歯と口の健康週間

10分でわかるおやこオンライン歯科講座 配信期間：6月1日～6月30日

12 ほどがや元気づくり事業【(予) 4,853,000円 (決) 1,791,358円】

企業と連携した区民への健康に関する情報提供や保土ヶ谷産野菜を活用した食生活改善等の健康づくりを啓発し、自分自身で健康の維持・増進をする機運を高めました。

- (1) ほどがや元気健康情報の発信

広報よこはま ほどがや区版 (6月号 お口の健康づくり、9月号 結核について)

Twitterを活用した健康イベントや季節に合わせた情報提供 (熱中症など)

天王町商店街での健康啓発 (街路放送、チラシ配布など)

- (2) 情報媒体の作成、配布

地産地消レシピに関するチラシ作成、配架 (10月～2月)

- (3) 健康講座と支援：区内企業向け支援 (10月)

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染症の影響により、体験型講座や各種イベントが中止となったため。

13 輝けシニア！2025事業 【(予) 899,000円 (決) 814,400円】

高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めました。

- (1) 介護予防：きらり☆シニア塾認定（累計100団体）、健康運動指導士による支援者向け体操講座（5月開催）
- (2) 老人クラブ：ことぶき大学（7月）、高齢者作品展（10～11月）、囲碁・将棋大会（3月）
- (3) 認知症支援：サポーター養成講座（10月、12月）、医療機関等の講座開催支援（12月）
- (4) 区行動指針を活用した地域包括ケアシステムに関する普及啓発
地域ケア会議研修会（10月）

14 学齢障害児フレンドサポート事業 【(予) 615,000円 (決) 54,426円】

障害児と家族が身近な地域で安心した生活が送れるよう、学齢障害児に外出の機会を設け、地域での余暇活動を支援しました。

- (1) 放課後事業の実施（1回。新型コロナウイルス感染症対策のため開催回数減）
- (2) 長期休み期間事業の実施（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
- (3) 休日事業の実施（新型コロナウイルス感染症対策のため中止）

3 つながり・支えあいの推進

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の関係団体の皆様等との協働を推進するとともに、地域活動や団体間の連携強化を支援します。また、地域での見守り活動の推進、高齢者や障害のある方への支援や多文化共生の推進等、地域の様々な活動の担い手の確保に取り組みました。

【予算額 25,938,000円】

【決算額 17,532,078円】

15 広聴の区民協働事業 【(予) 841,000円 (決) 573,498円】

分科会ごとのテーマに基づいた活動や、活動内容を広く区民にお知らせする広報紙の発行などを区民会議と協働して進めました。

- (1) 分科会の活動
- (2) ニュース「やまびこ」の発行（7月、3月発行）
- (3) フードドライブ、廃食油回収（5月、10月、1月実施）

16 《新規》多文化共生まちづくり事業 【(予) 3,090,000円 (決) 1,479,932円】

外国人と日本人が相互理解を深め、ともに地域の一員として安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、必要な事業を実施しました。

- (1) 多文化共生まちづくり計画の策定（3月）
- (2) 留学生による自国の文化紹介を区ホームページに掲載
- (3) 「ほどがや国際フェスタ」への出展（留学生による国際交流）（11月）

【差引の主な理由】

保土ヶ谷区多文化共生まちづくり計画検討業務委託における入札残

17 《新規》ICT 活用支援事業 【(予) 1,305,000 円 (決) 865,172 円】

新たな生活様式を踏まえ、ICT を活用した地域の活動や交流が展開できるよう、地域活動における ICT の活用を支援しました。

- (1) ICT の活用（ウェブ会議等）に関する研修会の開催（10～12 月 3 回実施）
- (2) ICT の活用を支援するアドバイザーの派遣（4 回実施）
- (3) 一部区民利用施設の ICT 環境の整備（10 月から順次整備）

18 ほどがや区民まつり 【(予) 4,900,000 円 (決) 1,843,425 円】

区民・区内各種団体や地域コミュニティの交流促進のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。そのため、代替事業として「令和3年度ほどがやアラカルト」を実施し、約3,000人の方にご来場いただきました。

- (1) 令和3年度ほどがや区民まつり（開催中止）

開催日：令和3年10月30日（土）

開催場所：星川中央公園・保土ヶ谷公会堂・保土ヶ谷区役所等周辺施設

- (2) 令和3年度ほどがやアラカルト

開催日：令和4年3月27日（日）

開催場所：保土ヶ谷区役所前広場、星川駅1階自由通路（北口側）ほか

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染症の影響により、区民まつりが中止となったため。

19 自治会町内会支援事業 【(予) 3,548,000 円 (決) 2,911,395 円】

市政・区政に関する情報提供などを行い、地域活動の根幹となる自治会町内会活動を支援しました。

20 市民活動支援事業 【(予) 4,211,000 円 (決) 4,178,596 円】

市民活動・生涯学習活動の拠点として、地域で活動する区民や団体間の連携・協働の支援等、地域に密着したきめ細やかな支援を行いました。

21 はぐくみプロジェクト 【(予) 3,162,000 円 (決) 1,279,477 円】

区民が地域に関心を持つきっかけをつくり、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる主体性のある人材の発掘・育成を行いました。また、区民利用施設が連携して地域活動を活性化する体制づくりを目指して、施設職員・区職員のスキルアップと情報共有を図る研修を実施しました。

- (1) はぐくみ塾（5、6月）
- (2) パワーアップ講座（6、10月）
- (3) 区民企画型講座（11、12、1、2月）
- (4) 地域コーディネーター研修（10、11月）
- (5) 企画の実践支援（4、5、6、7、10、2月）
- (6) ステップアップ補助金（3回）

【差引の主な理由】

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・参加者数減があったため。

22 障害者地域支えあい連携推進事業 【(予) 1,301,000円 (決) 1,441,126円】

障害者支援関係機関が課題解決に向けて話し合う保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会の円滑な運営及び活動を支援しました。また、障害者施設の自主製品販売の販路確保を支援するとともに、新たな取組として、精神科未治療者や治療中断者の重篤化を防ぐため、多職種連携によるアウトリーチ支援を実施しました。

- (1) 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会の開催（全体会：1回、専門部会：42回）
- (2) 障害者の社会参加拡充を目指したハンドメイド商品の販売促進支援
 - ・区役所での販売の機会及び場の提供（4～6月、11～12月）※まん延防止措置期間以外
 - ・事業所商品紹介リーフレットの増刷（4,000部）
- (3) 多職種支援チームによる精神障害者への訪問支援の実施
 - ・支援対象件数：8件
 - ・訪問回数：延べ101回

23 ほどがや花のおもてなし事業 【(予) 1,030,000円 (決) 886,350円】

障害のある方の社会参加の機会を増やすとともに、区庁舎の窓口環境の向上を目的に、障害福祉事業所と連携してフラワーアレンジメントを作製し、区役所内の窓口に展示しました。

- (1) 区役所窓口（13か所）へのフラワーアレンジメントの展示（展示回数：40週）

24 保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業 【(予) 1,300,000円 (決) 1,017,931円】

第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）を推進しました。また、庁内で連携するとともに、各地域が抱える様々な課題に対し主体的に取組を進められるよう、地区支援チームが各地域の活動を支援しました。

- (1) ほっとなまちづくり推進会議（6月、2月〔書面〕）
- (2) 地区別計画の策定（9月）及び推進の支援

25 地域見守り推進事業 【(予) 1,250,000円 (決) 1,055,176円】

ひとり暮らし高齢者等が地域で繋がりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員だけでなく、地域にお住いのあんしん訪問員（ボランティア）が民生委員・児童委員を通じて、区役所や地域包括支援センター等と連携しながら継続的に見守りました。

また、あんしん訪問員とともに地域の見守り等を行っている、民生委員・児童委員の活動を補佐する協力員を配置し、物理的・精神的負担軽減を図るとともに、その活動を地域住民に正しく理解していただくための広報・啓発を行いました。

- (1) 民生委員・児童委員協力員の委嘱（毎月1日付で委嘱）
- (2) あんしん訪問事業補助金を各地区推進委員会へ交付（6月）
- (3) あんしん訪問事業全体研修会の開催（3月〔中止〕）
- (4) あんしん訪問事業地区推進委員会連絡会の開催（3月〔中止〕）

4 魅力あるまちづくり

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や鉄道駅周辺のまちづくり、商店街振興、地産地消の取組等、活力あるまちづくりを推進しました。また、区の魅力を高めて発信し、地域への愛着をはぐくみました。

【予算額 18,157,000円】

【決算額 12,846,451円】

26 広報推進事業 【(予) 3,132,000円 (決) 3,350,380円】

様々な広報手段を積極的に運用することにより、重層的・多角的な広報活動を展開しました。

- (1) 保土ケ谷区ガイドマップ改訂版の発行(10月)
- (2) デジタル媒体による区政情報・区の魅力発信
- (3) フォロワー増加に向けたツイッターキャンペーンの実施(11～1月)
- (4) 転入者セットの作成
- (5) 保土ケ谷区に関する各種統計情報を便覧の形式で発行(3月)

27 歴史浪漫ほどがや事業 【(予) 2,397,000円 (決) 1,518,887円】

旧東海道の宿場町に代表される保土ケ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民や関係区局と協働で進めました。

- (1) 旧東海道PR(なぞ解き!ほどがやアドベンチャー(7月～9月)、保土ケ谷宿よりみちこみちマップの更新)
- (2) 歩きやすい街道づくり(松並木の樹木管理(1月)及び案内サイン等の維持管理)

28 星川駅周辺の魅力づくり事業 【(予) 3,150,000円 (決) 3,099,000円】

星川駅高架下空間やその周辺において、地区の歴史を生かし、魅力向上を図るため、星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドラインにおける「利便性が高く魅力あふれるまちづくり」を推進するための取組を実施しました。

- (1) 相鉄グループと協働契約締結(9月)
- (2) 星川駅周辺等の魅力やみらいを話し合うオンラインワークショップ開催(12月)
- (3) コワーキング・マルシェを軸としたイベントの開催(星天周辺の魅力づくり)(3月)
- (4) 帷子小学校の高架下見学会開催(12月)
- (5) 星川・天王町駅自由通路に隣小学校への絵画展示

29 保土ケ谷商工業支援事業 【(予) 583,000円 (決) 366,796円】

地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店街の宣伝する場を提供し、支援を行うとともに、区内企業のPRを行いました。

30 地産地消推進事業 【(予) 379,000円 (決) 213,047円】

農家・地域活動団体・区役所が協力し、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、区内の農業振興を図るとともに、地産地消の取組を進めました。

- (1) ほどがや朝市の開催(年13回)
- (2) 地産地消のPR

<p>31 国際文化理解事業 【(予) 883,000円 (決) 100,230円】</p> <p>国際文化の理解を深めるため文化紹介事業を実施し、ブルガリアをはじめとする多文化共生の実現を目指します。</p> <p>(1) 国際理解特別授業(令和4年2～3月) (2) ブルガリアはじめ多文化区民向けイベント</p>
<p>32 花薫るきれいな街ほどがや事業 【(予) 4,246,000円 (決) 2,454,537円】</p> <p>「ほどがや花憲章」とその理念をより一層周知・普及するとともに、地域と連携しながら清潔できれいな花の街ほどがやを目指します。</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「ほどがや花フェスタ」が中止となったため。</p>
<p>33 読書活動推進事業 【(予) 660,000円 (決) 508,360円】</p> <p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進しました。</p>
<p>34 保土ヶ谷区芸術の街 【(予) 2,727,000円 (決) 1,235,214円】</p> <p>保土ヶ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施しました。</p> <p>(1) 区民文化祭(10月～3月) (2) 区民ギャラリー (3) 区の歌普及事業</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のイベントが中止となったため。</p>
<p>＜信頼される区役所づくり～「チーム保土ヶ谷」の強化～＞</p> <p>窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求するとともに、感染症対策の徹底等、庁舎等の環境を整備しました。また、複合的な地域課題の解決に向けて、区役所各課が連携し、取り組みました。</p> <p style="text-align: right;">【予算額 11,248,000円】 【決算額 25,726,610円】</p>
<p>35 区総合調整事業 【(予) 2,000,000円 (決) 3,130,503円】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応のため、区役所で使用する各種感染症対策物品等の購入や、新型コロナ関連情報の周知広報など、緊急的に必要な対応を行いました。</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>感染症対策物品購入や関連情報の広報等の新型コロナウイルス感染症対応経費の増。</p>
<p>36 「利用しやすい区役所」推進事業 【(予) 8,545,000円 (決) 22,340,880円】</p> <p>区民の皆様が安心して快適に利用できるよう、区庁舎・区民利用施設の環境の整備・改善を実施しました。</p>
<p>【差引の主な理由】</p> <p>トイレの洋式化や破損・老朽化したブラインドの更新、執務室狭あい化解消のためのレイアウト変更等の区庁舎環境改善を実施したことによる増。</p>

37 窓口サービス向上事業 【(予) 703,000円 (決) 255,227円】

職員一人ひとりが区民の皆さまに寄り添い、丁寧で迅速なサービスの提供を行うことができるよう、応対マナーや人権感覚の向上を図るとともに、業務改善を進めました。

- (1) 改革推進委員会（チーム保土ヶ谷づくりプロジェクト）
- (2) 職員接遇研修の実施：「窓口応対研修」（6月）
- (3) 人権啓発研修の実施

(3) 統合事務事業費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
統合事務費	23,786,000	25,616,765	△1,830,765	郵送物の増による通信運搬費の増
統合事業費	19,330,000	15,600,476	3,729,524	
広報よこはま発行事業	8,744,000	7,057,407	1,686,593	デザイン委託の入札残
広聴の相談事業	696,000	684,206	11,794	
クリーンタウンほ도가や事業	655,000	182,600	472,400	美化推進員活動をボランティア活動に移行したことによる残
消費生活対策事業	101,000	79,309	21,691	
緊急時情報システム事業	544,000	379,236	164,764	実績による減
スポーツ推進委員事業	3,540,000	3,182,439	357,561	コロナ禍での事業中止による減
青少年指導員事業	3,910,000	3,064,265	845,735	コロナ禍での事業中止による減
学校・家庭・地域連携事業	960,000	960,000	0	
健康づくり月間事業	180,000	11,014	168,986	コロナ禍での事業中止による減
合 計	43,116,000	41,217,241	1,898,759	

(4) 区庁舎・区民利用施設管理費執行実績

(単位：円)

事業区分	予算額	決算額	差 引	差引の主な理由
区庁舎・区民利用施設 管理費	538,767,000	552,182,637	△13,415,637	
区庁舎	100,616,000	116,187,211	△15,571,211	労務単価増に伴う清掃・ 設備管理委託料の増等
ほどがや 市民活動センター	26,129,000	26,129,000	0	
土木事務所	9,060,000	9,274,640	△214,640	労務単価増に伴う清掃・ 設備管理委託料の増等
公会堂	56,384,000	56,384,000	0	
地区センター等	337,657,000	337,614,333	42,667	実績による減
広場・遊び場	2,388,000	2,274,718	113,282	実績による減
区庁舎・区民利用施設 修繕費	6,533,000	4,318,735	2,214,265	実績による減
合 計	538,767,000	552,182,637	△13,415,637	

《参考1》区局連携促進事業

関連局と連携して様々な事業を戦略的に行うための所要額を事業所管局予算として計上しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
星川駅周辺のバス交通アクセス向上検討事業	2,000,000	1,376,100	623,900	<p>連続立体交差事業による星川駅周辺の道路整備を契機として、前年度に実施した周辺交通の現況把握や地域の交通需要についてのアンケート調査について、詳細な分析や安全性や採算性の確保などを考慮し、検討路線の具体化に向けバス事業者とルート案について情報共有や調整を行いました。</p> <p>(事業所管局：道路局) (通年)</p>
合 計	2,000,000	1,376,100	623,900	

《参考2》 元気な地域づくり推進事業

市民局からの予算配付を得て、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、自治会町内会をはじめとする地域の様々な主体が連携して行う課題解決の取組を支援しました。

細目事業名	予算額	決算額	差引	概要
“輝け、地域力！”事業	1,120,000	120,444	999,556	少子高齢化や多様化する地域課題に対して的確に対応するため、地域支援に取り組むとともに、地域と行政の協働を推進しました。（通年）
地域・まちづくり活動支援事業	689,000	441,537	247,463	地域・まちづくりにつながる社会的公共性を持つ区民活動を支援し、「区民との協働による個性豊かな地域づくり」の促進を図るために、事業費を補助しました。（通年）
保土ヶ谷ほっとなまちづくり地区別計画推進事業	310,000	308,584	1,416	保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）地区別計画は、地域の様々な人や活動団体と区役所等の関係機関が協働して取り組む計画です。地域住民が主体となって取り組む地区別計画の推進や策定、地域課題の解決を支援しました。 (1) 希望地区へのアドバイザー派遣（通年）
合 計	2,119,000	870,565	1,248,435	

施策分野・事業名	4年度予算
◆つながり・支えあいの推進	
《新規》区制 100 周年に向けた地域活動ブースター事業 (地域振興課・区政推進課)	3,400 千円

1 事業概要(目的)

新型コロナウイルス感染症により制限されていた地域活動の再始動を支援するため、区制 95 周年を迎える令和4年度から「区制 100 周年」という機会を共通のテーマとして機運醸成を行うとともに、区内の団体の様々な活動が活性化するよう後押しします。

まず、区民まつりの拡充など機運醸成のための区関連イベントを開催し、区内の機運を盛り上げます。

また、区内の団体等で活動している多様な方々にアイデアをいただきながら、100 周年に向けた新たな活動を創出し、それらを担う人材の掘り起こしを含め、区民が主体的に取り組めるよう支援します。

2 これまでの執行状況

(1) 区の歌合唱団と保土ヶ谷コミュニティオーケストラの合同コンサート(令和4年7月実施)

保土ヶ谷コミュニティオーケストラが出演する区民コンサートが保土ヶ谷公会堂で3年ぶりに開催されました。オープニングは区制 100 周年に向けた活動として、区の歌合唱団とコラボレーションし、区の歌「わがまち、保土ヶ谷」を披露しました。



区制 95 周年の合同コンサート

(2) 区民まつりにおいて、95 周年・100 周年をアピールする企画の検討を行ってきました。

3 今後の予定

(1) 区内で活動する団体等に対して、アンケート(100 周年に向けて実施してみたい活動など)を実施中です。出された意見をつなげ、広げるようコーディネートし、活動の再開や拡充を支援していきます。(令和4年8月～)

また、100 周年をテーマの一つとした「ほどガヤ会議」を開催し、新たな担い手を発掘します。

※ 「ほどガヤ会議」とは

多種多様な現場レベルの方々を参加者として、アイデアを出して行動を起こしていくことを目的とする会議。1 回目は令和元年度に開催。市民活動団体、FC、区内飲食店、民生委員、区民利用施設職員など 73 名が参加し、防災やごみなど 10 のテーマでディスカッションしました。

(2) 機運醸成としての区関連イベントの実施

- 地区対抗綱引き交流会(区民まつりで同時開催)(令和4年10月)
- 地産地消料理コンテスト ※区制100周年には「ほどがや野菜レシピ集(仮称)」を発行予定
 レシピ募集 令和4年10月1日～11月18日
 コンテスト開催 令和5年1月21日
- フォトコンテスト
 SNSを活用した写真投稿キャンペーン 令和4年9月1日～10月31日
 投稿された写真によるフォトコンテスト開催 令和4年12月～令和5年1月(予定)
- 区内市立小中学校との連携企画(調整中)

施策分野・事業名	4年度予算
○ 誰もが健やかに暮らせる環境づくり	
ほどがや元気づくり事業(福祉保健課)	4, 853千円
ほどがや歯っぴい Health 事業(福祉保健課)	1, 400千円

1 事業概要(目的)

今年で3年目に入った新型コロナウイルス感染症の流行は、外出自粛を原因とする体力の低下など様々な健康影響をもたらしています。そこで、新型コロナウイルス感染症の感染動向を見極めながら、自身の健康への関心を高め、受診や健康づくりのきっかけとなるような取組を進めています。

ほどがや元気づくり事業では、「働き・子育て世代」を中心とした区民への健康に関する情報提供やきっかけづくりにより、自分自身で健康を維持・増進する機運を高めます。また、ほどがや歯っぴい Health 事業では、乳幼児や高齢者などステージ別に、口腔内を健康に保つために必要な知識や方法を啓発します。

2 ほどがや元気づくり事業

(1) 企業と連携した「保土ヶ谷元気づくりプロジェクト」

運動習慣定着を目指すため、企業と連携して「保土ヶ谷元気づくりプロジェクト」を進めています。本プロジェクトでは「気づく」「高める」「広める」の3段階構成で区民向けにイベントや取組を実施していきます。

【第1弾】「気づく」

身近な街をみんなでごみを拾いながら歩くことにより、運動の楽しさに気づいてもらい、運動習慣につなげます。そのきっかけづくりとして、e スポ GOMI 大会を企画し、実施に向け、募集や広報等を進めました。(7月)

※7月30日開催予定でしたが、感染症拡大を考慮し、延期しました。

参加者全員に
参加費と飲み物
プレゼント!

事前申し込み・参加無料
7.30(Sat) 8:00~

e スポ GOMI

「e スポ GOMI」とは
あらかじめ定められたエリアで制限時間内にチームでごみを拾い、
ごみの量と種類でポイントを集い合うスポーツ「e スポ GOMI」は、
「e スポ GOMI」をきっかけとした新しい形の清掃活動です。

競技内容

ごみ拾い時間(35分) e スポ GOMI大会(50分) ごみ拾い時間(35分)

当日は、チーム戦で前半戦・後半戦に分けてエリア内のごみを拾い「多くのごみを拾ったチームが勝利となります。ごみ拾いの際のe スポ GOMI大会で、ごみ拾い時間中に勝利したチームが勝利となります。

参加条件
【中心部地区の集合場所(集合場所)】
東京都保土ヶ谷区
保土ヶ谷区民、通勤・通学で保土ヶ谷区民
【持ち物】ごみ袋(容量:20L以上) (費用は7,300円)
【服装】汗かきやすい服装(半袖以上) (費用は1,000円)
【持ち物】飲み物(持ち帰り可能なもの)
【参加費】参加費は無料です。
※e スポ GOMI大会は、
保土ヶ谷区民専用です。
03-3346-6345

e スポ GOMI 開催チラシ

e スポ GOMI とは

コンピューターゲームによる競技型スポーツ「e スポーツ」と、ごみ拾い活動にスポーツのエッセンスを加えた社会奉仕活動「スポ GOMI」を組み合わせ、楽しみながら環境保全の達成を目指すソーシャルアクティビティです。

(2) 今後の予定

開催延期となった e スポ GOMI 大会の実施に加え、引き続き企業と連携した「保土ヶ谷元気づくりプロジェクト」により区民の健康づくりを進めます。

【第2弾】「高める」

保土ヶ谷区民の働き子育て世代に、モニターとしてウェアラブル端末を貸与し、日々の行動の運動効果を見える化し、運動を実感できる体験をすることで、区民の健康意識を高めます。

【第3弾】「広げる」

ランニングのスペシャリストによるランニング講習会を実施し、参加者に運動のフロントランナーとしてご活躍いただくことを目指し、健康意識の高い区民の裾野を広げます。

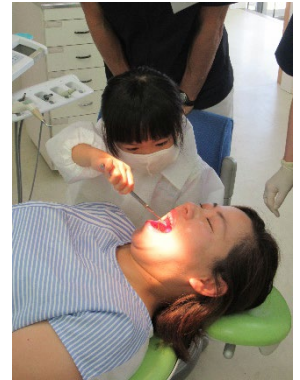
3 ほどがや歯っぴい Health 事業

(1) 親子健康まつりを通じた啓発（6月）

保土ヶ谷区では、歯科口腔保健推進条例のもと、例年、親子健康まつりを通じてお口の健康にかかる啓発を行っています。

今年度の親子健康まつりでは、区役所での啓発イベント(6月9日、保健活動推進員、食生活改善推進員との共催)に加えて、歯科医院でのこども歯科体験を実施し、歯科健診等受診のきっかけづくりを行いました(6月26日、松崎デンタルクリニック)。

こども歯科体験は、コロナ禍であることを踏まえ、小学生親子5組12名と人数を絞っての開催となりましたが、こどもが歯の健康への興味を持ち、重要性を理解できたとの声をいただいています。



歯科医院での
こども歯科体験

(2) 今後の予定

高齢者の歯科口腔保健の向上について、区歯科医師会と連携して、「オーラルフレイル」予防にかかる講演(2回)や地域のサロンでの出張教室(7回)を実施します。また、保健活動推進員など地域の団体とも連携しながら、地域に出張し、歯周病予防の啓発を進めます(4回)。

乳幼児期についても、乳幼児歯科健診とあわせて、1歳児向け歯科講座「歯っぴいいきいき1歳児」を引き続き実施し、母子を対象とした歯科口腔保健の啓発を進めます。

施策分野・事業名	4年度予算
1 つながり・支えあいの推進	
障害者地域支えあい連携推進事業 《多職種連携による包括的なアウトリーチ支援》 (高齢・障害支援課)	892 千円

1 事業概要(目的)

精神障害者に係る相談件数や障害者手帳所持者数は増加傾向にあり、特に精神科未治療者や治療中断者、自発的な受診や相談が困難な方など、支援に繋がっていなかったために重篤化するケースもあります。

そこで、区役所や医療機関等への支援希望が薄い方に対して、区役所社会福祉職や保健師に加え、地域医療機関の精神科医師や訪問看護師も参画する多職種支援チームを編成して、月2回程度の訪問を行うアウトリーチ支援を令和3年度から実施しています。

多職種支援チームの専門職が、医療・保健・福祉・生活支援にわたる重層的な支援を行うことで、対象者が医療や福祉サービスに繋がり、病状の重篤化を防いだり、生活環境の改善が期待できます。

令和4年度は事務局を「基幹相談支援センター」から、精神障害に特化した区内唯一の支援機関である「精神障害者生活支援センター」に変更したことで、より専門性の高い支援及び連携が可能となっています。

なお、支援期間は原則6か月とし(必要時、短縮・延長は可能)、支援機関に繋がった段階で多職種支援チームによる支援は終了となります。

2 これまでの執行状況

	前年度 継続件数	新規 支援件数	支援終了	支援 継続中
R3年度	—	8	1(*1)	7
R4年度	7	1	2(*2)(*3)	6
累 計	—	9	3	6

令和4年7月末現在

(*1)…生活保護を申請したことによる生活支援課との関わり開始

(*2)…訪問看護を導入し、あんしんセンターの関わり開始

(*3)…基幹相談支援センターの定期訪問開始

3 今後の予定

- (1) 対象者の選定、支援方針・内容の確認、支援終了等を話し合う「チーム員会議」の開催(月1回)
- (2) 有識者を交えた、事業評価のための指標の検討(10月～)

